



手づくり活動の楽しさ

すばらしさ(1)

浜本昌宏

ステンシルで飾ろう

写真でお分かりのように、悦びに満ちた子どもの笑顔は最高ですね。そこに学習や発達につながる、充実感があればこそその発現です。

ステンシルは、薄くて水を通さない紙に、形を切り抜き、刷り込み刷毛やタンポなどで、色彩をすりこみます。色を使い分けたりすることで、すてきな飾り模様が出来ます。保育者があらかじめ幾つかの型を作っておき、まずはそれを使って形を刷り出す体験から始めてもよいでしょう。(上の作例参照)

写真の子ども(四歳)は、紙を四つに折ってハサミをいれ、タンポに絵の具をつけて(スタンプ台から)刷り出したものです。色を違えたり混ぜ合わせたりして、「ほら、これ、すてきでしょ」と大満足。

生活や文化を創り出す、能動的な人間発達を促す、基礎的な表現活動の一つです。
(元・三重大学)

*タンポはフェルトや布など *スタンプ台は、小さな容器で「てるてる坊主」のように フェルトや布を敷き、絵の具を加えます。